

下水熱利用によるエコづくりワークショップ の開催結果

下水熱利用推進協議会（第7回）資料

平成27年3月11日

1. ワークショップの開催概要

		豊田会場	大阪会場	浦安会場
開催日時		2015年1月16日(金)	2015年1月20日(火)	2015年1月22日(木)
プログラム	講演・パネルディスカッション 第Ⅰ部	1. 講演 ①国土交通省 「下水熱利用の概況と国土交通省の推進施策」 ②豊田市 「豊田市における下水熱利用の取り組み」 ③積水化学工業株式会社 「未利用エネルギー活用システムの取り組みについて」 ④株式会社総合設備コンサルタント 「下水熱ポテンシャルマップの重要性と活用」 ⑤株式会社三菱総合研究所 「下水熱利用の事業スキームに関する情報提供」 2. パネルディスカッション	1. 講演 ①国土交通省 「下水熱利用の概況と国土交通省の推進施策」 ②株式会社東芝 「茨木スマートコミュニティPJの概要」 ③関西電力株式会社 「堺市鉄砲町地区における下水熱利用について」 ④株式会社総合設備コンサルタント 「下水熱ポテンシャルマップの重要性と活用」 ⑤株式会社三菱総合研究所 「下水熱利用の事業スキームに関する情報提供」 2. パネルディスカッション	1. 浦安市開会挨拶 2. 講演 ①国土交通省 「下水熱利用の概況と国土交通省の推進施策」 ②浦安市 「浦安市の現状」 ③清水建設株式会社 「建物・都市への下水熱エネルギーの利用」 ④株式会社総合設備コンサルタント 「下水熱ポテンシャルマップの重要性と活用」 ⑤株式会社三菱総合研究所 「下水熱利用の事業スキームに関する情報提供」 2. パネルディスカッション
	意見交換会 第Ⅱ部	なし	1. 事務局からの話題提供 - 事業スキームの検討方針 - 採算性評価(中間報告) 2. 意見交換	1. 事務局からの話題提供 - 事業スキームの検討方針 - 採算性評価(中間報告) 2. 意見交換
参加人数		約100名	【第Ⅰ部】50名、【第Ⅱ部】14名	【第Ⅰ部】48名、【第Ⅱ部】18名

2. 参加者からの主な質問

- 下水道部局としてのメリットは何か？
- あえてデメリットを挙げるとしたら何か？
- 区画整理事業等における下水熱利用の可能性は？
- 体育館等公共施設における下水熱利用の可能性は？
- 流量が少ない小口径管路での下水熱利用の可能性は？
- 海外での事業スキームは？
- 投資回収年数は何年か？
- CO₂削減効果の評価方法は？
- 維持管理、下水道施設への影響の面での留意点は？
- 将来的な人口減少による流量の減少や、下水熱利用事例が多数開始した場合の熱の奪い合いによるポテンシャルの減少は？

—講演の様子—



—パネルディスカッションの様子—



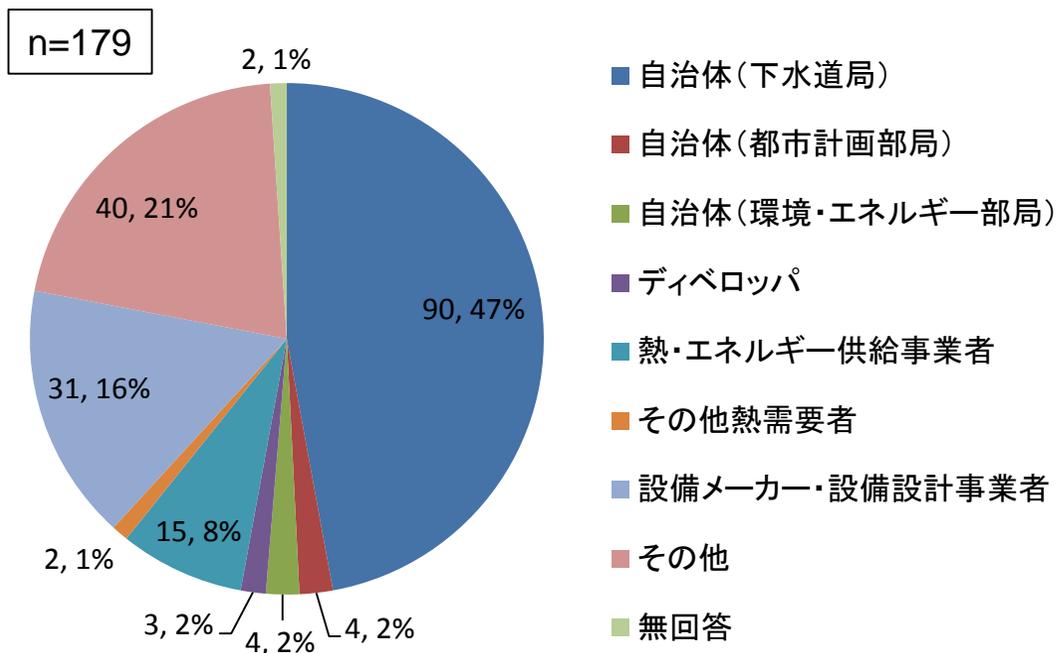
—意見交換会の様子—



3. 来場者アンケートの結果

- 来場者の所属別内訳を見ると、自治体(下水道部局)の割合が最も多く、47%を占めた。次いで、設備メーカー・設備設計事業者、熱・エネルギー供給事業者の割合が高く、それぞれ16%、8%であった。
- 来場者のワークショップ全体に対する満足度としては、「非常に有意義」、「有意義」と回答した割合が約95%を占めた。
- 自由記述に記載されていた主な意見としては以下のとおり。
 - ✓ 非常によい取り組み。周知面、意見集約面、課題の共有化、関係者のモチベーションUP等の点で有意義であった。
 - ✓ 下水熱利用のメリットだけでなく、デメリットやその対応策等についても情報提供して欲しい。

—来場者の所属別の内訳(3会場全体)—



—来場者のワークショップ全体に対する満足度(3会場全体)—

